

東日本大震災等被災地支援活動「チーム四日市」



～四日市市から広がる支援の輪～

ありがとうメッセージ

国際支援NGOあい



主にウガンダの孤児支援を目的として活動している団体です。この東日本大震災を機に、主には、震災の影響で四日市に来られた方への生活必需品の提供や食事会&交流会などのイベントを開き、四日市に疎開された方同士や四日市の支援者との交流の場を提供しています。

8月に四日市に疎開している7家族計25名を招待し、御在所でバーベキュー、川遊びなどを楽しみました。日頃、原発の事故の影響により外で遊ぶことができなかつた子どもたちがめいっぱい外で遊ぶことができ、喜んでいただくことができました。

支援金は、バス代や会場費などに利用させていただきました。1月には、四日市に短期で疎開してくる人のたちのための共有する物資として、布団を購入しお渡しすることができました。ありがとうございました。

近隣の介護福祉施設等で訪問出張カット等のボランティアをしているボランティアグループです。

主には、この震災で避難されている方に少しでもゆとりの時間を提供したいとの思いから、美容という技術を活かしての避難所での髪の毛のカットや、被災された同業者への復興支援活動をしています。

支援金は、9月に宮城県石巻市ならびに七ヶ浜へのボランティアカットへ行く際の車の燃料費などに利用させていただきました。カットを通じてたくさんの方と交流を図り、「遠くからありがとう」と泣いて喜んでいただく方もみえ、こちらが反対に元気をいただいて帰ってきました。ありがとうございました。

NPOコスモス



四日市東日本大震災支援の会



四日市大学の教職員、学生を中心に被災地支援活動をしている団体です。宮城県東松島市に5月～8月にかけて定期的に瓦礫や泥のかき出しといった作業をしてきました。現在は、被災地のニーズを確認しながら、東北が完全に復興するまで、被災者の方々の気持ちに寄り添いながら、現地の皆さんの自立に役立つ活動を継続していきたいと考えています。

支援金は、次の活動のための現地調査、ニーズ調査のために宮城県～岩手県の各市町の視察へ行く際の車の燃料費などに利用させていただきました。ありがとうございました。

日頃は、四日市市内で事務所を設け、カウンセリング、講演、セミナーなどの活動をしています。

9月に宮城県石巻市の仮設住宅の被災者の方へカウンセリングによるメンタルケア、心理テストによる自己分析、コミュニケーションの技法などをお伝えする活動をしてきました。子どもから高齢者までたくさんの方にご参加いただき、「周りの人たちも辛い思いをしているのに、今まで自分の悩みを打ち明けることができなかった。」「今回話を聞いてもらえて嬉しい。」との声もあり、日頃の溜まっているストレス、悩みをお聞きすることができました。

支援金は、現地までの車両レンタル費、燃料費などに利用させていただきました。

今後も1人でも多くの方のメンタルケアができるように、活動を続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

カウンセリングオフィス優



NPO法人まるごと四日市地域ブランド



日頃は、四日市の食材や食品などを四日市のブランドとして認定し、その食材で料理を作るなど四日市の文化を形にしていくな活動に取り組み、四日市の魅力を全国に発信していく活動をしていいます。

10月、11月に宮城県多賀城市、山元町、自宅や集会所などでお米、野菜、布団、衣類などの物資を届ける活動をしてきました。現地では、仕事もなくまだまだ食料や寒さに対する不安もあり、現地の方からは「大変ありがたい」「おいしくいただきました」と大変喜んでいただきました。

支援金は、現地までの車両レンタル費、燃料費などに利用させていただきました。

今後も被災地での様子を確認しながら物資の支援など続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

この震災を機に、もあはび（日頃は、ゲストを招き講演会、イベント企画などの活動をしている団体です。）国際支援NGOあいが協力し「三重の輪」という疎開者の交流の場を提供する活動をしています。

12月に四日市に疎開してきている家族を中心に県内に19世帯計60名の方を御招きし、食事会&交流会クリスマスパーティーを開催しました。「チーム四日市」のメンバーの協力もあり、サンタの登場やカード、リース作り、聖歌隊のクリスマスソングなど子どもから大人まで喜んでいただき、家族同士や四日市の支援者をつながるきっかけになりました。

支援金は、会場使用料に利用させていただきました。

今後も四日市に疎開してきている方が、少しでも四日市に来て良かったと思えるように交流の場を提供したいと思えます。ありがとうございました。

三重の輪



防災一座



日頃は、三泗地区を中心に市民の防災意識向上や地域の防災啓発のための各種講座、イベントを開催しています。

今回のような東日本大震災のような災害時には被災地へ赴き、現地のニーズ把握をし、コーディネート、支援活動を実施しています。

12月に宮城県仙台市、石巻市、女川町の仮設住宅、施設の被災者の方へメリノール女子学院聖歌隊とともにクリスマスコンサート、交流会、物資を届ける活動をしてきました。

昔懐かしの歌「上を向いて歩こう」「ふるさと」を歌うと涙をながしながら聞いていただく方もみえました。最後には「来てくれてありがとう」と温かいお言葉かけていただきとても嬉しく思いました。支援金は、現地までの車両レンタル費、宿泊費などに利用させていただきました。

今後も被災地や四日市に避難されている方の気持ちに寄り添いながら自分達にできる活動を続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

日頃は、東日本大震災で被災された生活必需品・消耗品・整理棚・着替えなどを広く募集し、東日本大震災で被災された現地の方々へ届けています。また、現地での生の声を聞き、必要な道具物資を出来る範囲でご用意して届けています。

今回は、岩手県釜石市、大槌町、陸前高田市の仮設住宅へ物資を届けに行きました。現地では、まだまだ冬の物資が足りておらず、毛布や手づくりの品々、毛布、布団などを届けました。現地で肩掛けを手にした方は「すごく温かい」と喜ばれ、配布会中ずっと掛けていただいていたいました。今回は各地から手作りの品々が多数寄せられ、「特設コーナー」で大人気を博し、たくさんの方に喜んでいただきました。

支援金は、現地までの燃料費などに利用させていただきました。

今後も必要な物資が届かない地域も多く、被災者の声を聞きながらみなさまからいただいた気持ちとともに物資を届ける活動をしたいと思えます。ありがとうございました。

あすなる応援便

